

技術・家庭科（家庭分野）

技術・家庭科（家庭分野）について、以下の観点に基づき、発行社ごとに教科書を調査・研究した。

選定の観点

- 1 学習課題や目標の明示、適切なまとめや振り返り活動の設定など、生徒が基礎的・基本的な知識及び技能の内容を確実に習得できるよう工夫・配慮がなされていること。
- 2 習得した知識及び技能を活用しながら、生徒が問題発見・解決的な学習、話し合い活動や表現活動等の言語活動に取り組み、多面的・多角的に考察しながら、思考力、判断力、表現力等を身に付けられるよう工夫・配慮がなされていること。
- 3 生徒が主体的・対話的に学ぶことができるよう、能動的・体験的な活動など探究意欲を高めるための工夫・配慮がなされ、さらに学んだことを活用して発展的な学習に取り組みやすいよう工夫・配慮がなされていること。また、ICT機器の活用も含め、個別最適な学びと協働的な学びを展開しやすいよう工夫・配慮されていること。
- 4 よりよい生活の実現に向けて、生活を工夫し創造する資質・能力を身に付けられるよう、生徒が生活の営みに係る見方・考え方を働かせながら、生活に関する実践的・体験的な活動を通して、生活における問題を見出し解決策を構想したり、実践を評価・改善したりする活動が適切に取り上げられていること。
- 5 よりよい生活を営むための課題と実践がバランスよく取り上げられるとともに、家族や家庭、衣食住、消費や環境等にかかる生活事象について、生徒が協力・協働、健康・快適、安全、生活文化の継承・創造、持続可能な社会の構築等の視点で捉え、自立した消費者としての素養を高められるよう工夫・配慮がなされていること。
- 6 生徒が人権の重要性を学び、人間としての生き方について考察できるための工夫・配慮がなされ、基本的人権の尊重の精神及び道徳性を身に付けられるよう、人権教育や道徳教育の視点に立った内容が積極的に取り上げられていること。
- 7 系統的・発展的に学習しやすい題材構成であることに加え、他教科等の学習内容との関連や現代的な教育諸課題との関連が想起しやすく、また他校種との接続や家庭・地域との連携についても工夫・配慮がなされていること。
- 8 表記、表現、写真、図表等が適切かつ正確であることに加え、ユニバーサルデザインの観点から、文字フォント、色の使用、紙面の構成等において見やすく読みやすいよう工夫・配慮がなされていること。また、再生紙の使用や環境に優しいインクの使用等環境への配慮がなされていること。

技術・家庭科（家庭分野）

調査研究の結果の概要

■東京書籍「新編 新しい技術・家庭 家庭分野 自立と共生を目指して」

各節の始めに「目標」「キーワード」「学習課題」を示し、最後に「まとめよう」で節の学習のまとめを行うことで、生徒自身が見通しと課題意識をもって学習を進め、振り返ることができるよう工夫されている。また、各編最後の「大切な用語の確認」で基礎的・基本的な内容が提示され、さらに見開きの特設ページ「いつも確かめよう」で実習や生活の実践に関わる技能や科学的根拠についてポイントをまとめて掲載されており、生徒が基礎的・基本的な知識及び技能をいつでも繰り返し確認できる工夫がなされている。

巻頭の「Warm up」や「ガイダンス」においては、生活の営みに係る見方・考え方が4つのマークやイラストで具体化され、日々の生活を多面的に見つめることで、自らの問題発見につながるよう工夫されている。また、各編の扉ページで関連する見方・考え方をキーワードで例示し、生徒自らが多角的な視点から考え、判断、決定して問題解決に取り組める構成となっており、優れている。

巻末の「生活の課題と実践」では、生徒が問題解決的な学習と巻頭の「ガイダンス」をリンクさせ、見方・考え方を働かせながら計画・実践・改善したことを生活に生かすことができるよう工夫されている。また、生徒が表現力を育むことができるよう、学習内容別のレポート作成例やソフトウェアを活用したプレゼンテーション資料例など豊富な表現方法について写真やイラストを用いて提示するとともに、課題設定の方法やまとめと発表の仕方のポイントを掲載することで、主体的な学習活動や言語活動を促すなど工夫されており、優れている。

実習例のページに掲載されている「私のオリジナル」においては、実習例とは別の工夫を紹介したり、世界の様々な住まいの紹介など学習内容をさらに深める情報については「発展」マークを付し、生徒の興味・関心に応じて発展的な実践活動につなげられるよう工夫されている。

伝統的な料理や食材、衣服の文化、和式の住まいの特徴、各地の気候風土に合わせた特徴ある住まいの写真など、日本の伝統的な生活文化に関する内容には「伝統文化」マークを付し、生徒の注視を促すとともに、伝統的な生活文化を尊重し、我が国と郷土を愛する態度を養うことができるよう配慮されている。

■教育図書「新 技術・家庭 家庭分野 暮らしを創造する」

各節の始めに「めあて」と「キーワード」が示されており、生徒が基礎的・基本的な内容を確認しながら学習できる。また、「やってみよう」のページ構成を「見つめる」→「学ぶ」→「振り返る」で統一するなど、知識及び技能を身に付けやすいよう工夫されている。加えて、各節最後の「振り返る」で学習内容を3段階で自己評価するとともに、生徒自身の言葉で振り返ることができる「私の学び」欄を設け、見通しと課題意識をもって学習を進められるよう工夫されている。さらに、調理や製作に関する学習の流れを見開きページに統一し、解説付きの写真や図表を用いて、科学的な理解を助ける視覚的な資料を多く掲載したりするなど、生徒が基礎的・基本的な知識及び技能を習得できるよう工夫されている。

巻頭の「ガイダンス」においては、家庭分野の学習の考え方の視点として「協力・協働」「健康・快適・安全」「生活文化の継承・創造」「持続可能な社会の構築」を具体的に紹介されており、さら

に章末の「学習のふり返り」の中で各章の内容に応じた課題についての学習の進め方がまとめられているなどの工夫がなされている。一方で、生活の営みに係る見方・考え方については、各学習の導入部分において、資料から気付きを得られるよう配慮するにとどめている。

巻末の「生活の課題と実践」に掲載されている学習課題と実践例は、巻頭のガイダンスと各領域の「学びを生かそう」とリンクしており、生徒が手順に沿って繰り返し問題解決的な学習に取り組むことができるよう工夫されている。また、課題設定のヒントとして、題材導入の活動を掲載したり、巻頭の「自分の課題を持って学習に取り組もう！」の中で、まとめ方や発表方法の例も併せて掲載したりすることで、生徒の表現力を育むとともに、課題の設定と実践のイメージをもちやすいよう工夫されている。

実習例のページに掲載されている「私のアレンジ」において、実習例とは別の工夫を紹介したり、地域の伝統的な器の紹介など学習内容をさらに深める情報については「発展」マークを付したりするなど、生徒の興味・関心に応じて発展的な実践活動につなげられるよう工夫されている。

伝統的な年中行事や地域の食文化、和食の調理、和服、伝統的な住まいなど、日本の伝統的な生活文化に関する内容に「伝統文化」マークを付し、生徒の注視を促すとともに、伝統的な生活文化を尊重し、我が国と郷土を愛する態度を養うことができるよう配慮されている。

■開隆堂出版「技術・家庭 家庭分野 自立しともに支え合う生活へ」

各節の始めに、「学習の目標」と身近なことから考えられる課題が示され、生徒が見通しと課題意識をもって学習を進められるよう工夫されている。調理や製作に関する見開きページでは、生徒が基礎・基本の技能を捉えやすいよう写真やイラストを効果的に掲載するなど、学習内容を確認しやすい工夫がなされている。また、「調理方法Q&A」では、短い問いと答えの形式にまとめられており、生徒が科学的根拠に基づいた知識及び技能を習得しやすいよう工夫されている。

巻頭の「ガイダンス」においては、生活の営みに係る見方・考え方の4つの視点として「協力・協働」「安全・快適・健康」「生活文化」「持続可能な社会の構築」が紹介されており、さらに主体的・対話的で深い学びの理解を促す学習方法が掲載されているなどの工夫がなされている。しかし、各編の導入部分においては、キャラクターのセリフから気付きを得られるよう配慮するにとどめられている。

巻末の「生活の課題と実践」では、課題に対する家庭や地域での学習の進め方や取組方法、まとめ方が具体的に掲載されており、多種多様な実践例が紹介されていることで、課題の設定と実践のイメージをもちやすく、計画的に学習を進める手助けとなるよう工夫されている。

実習例のページに掲載されている「調理実習Q&A」においては、科学的根拠や調理のポイントを示したり、子どもの権利条約や法律の紹介など学習内容をさらに深める情報については「発展」マークを付し、生徒の興味・関心に応じて発展的な活動につなげられるよう工夫されている。

全国各地の和食や郷土料理、伝統的な民家や和服など、日本の伝統的な生活文化に関する内容に「伝統文化」マークを付し、生徒の注視を促すとともに、生徒が伝統的な生活文化を尊重し、我が国と郷土を愛する態度を養えるよう配慮されている。

※詳細の結果・データは、観点別資料及び観点別・視点別評価資料に記載。

選定の観点		選定の視点	東京書籍	教育図書	開隆堂
1	学習課題や目標の明示、適切なまとめや振り返り活動の設定など、生徒が基礎的・基本的な知識及び技能の内容を確実に習得できるよう工夫・配慮がなされていること。	1 基礎的・基本的な学習内容の定着に向けた工夫	○	○	○
		2 指導事項(学習のめあてや振り返り活動等)の明示	○	○	○
		3 安全・衛生への自覚を促す工夫	◎	◎	○
2	習得した知識及び技能を活用しながら、生徒が問題発見・解決的な学習、話し合い活動や表現活動等の言語活動に取り組み、多面的・多角的に考察しながら、思考力、判断力、表現力等を身に付けられるよう工夫・配慮がなされていること。	1 習得した知識及び技能の活用を促す工夫	○	○	○
		2 問題解決的な学習や言語活動の充実の工夫	◎	○	○
		3 思考力、判断力、表現力等の育成に向けた工夫	○	○	○
3	生徒が主体的・対話的に学ぶことができるよう、能動的・体験的な活動など探究意欲を高めるための工夫・配慮がなされ、さらに学んだことを活用して発展的な学習に取り組みやすいよう工夫・配慮がなされていること。また、ICT機器の活用も含め、個別最適な学びと協働的な学びを展開しやすいよう工夫・配慮されていること。	1 探究意欲を高め、主体的・対話的に学ぶための工夫	○	○	○
		2 発展的な学習活動につながる工夫	○	○	○
		3 ICT機器を活用するなど、個別最適な学びと協働的な学びを展開するための工夫	○	○	○
4	よりよい生活の実現に向けて、生活を工夫し創造する資質・能力を身に付けられるよう、生徒が生活の営みに係る見方・考え方を働かせながら、生活に関する実践的・体験的な活動を通して、生活における問題を見出し解決策を構想したり、実践を評価・改善したりする活動が適切に取り上げられていること。	1 生活における課題設定・実践・評価・改善等の学習活動の充実	◎	◎	○
		2 生活の営みにかかる題材設定の工夫及び実践的・体験的な活動の充実	◎	○	○
5	よりよい生活を営むための課題と実践がバランスよく取り上げられるとともに、家族や家庭、衣食住、消費や環境等にかかる生活事象について、生徒が協力・協働、健康・快適、安全、生活文化の継承・創造、持続可能な社会の構築等の視点で捉え、自立した消費者としての素養を高められるよう工夫・配慮がなされていること。	1 生活の課題と実践の学習内容の充実	◎	○	○
		2 持続可能な社会の担い手となる態度を養うための工夫	◎	○	◎
		3 家族や家庭生活、地域の人々との関わりの充実	○	○	○
		4 伝統的な生活文化に関する学習内容の充実	○	○	○
6	生徒が人権の重要性を学び、人間としての生き方について考察できるための工夫・配慮がなされ、基本的人権の尊重の精神及び道徳性を身に付けられるよう、人権教育や道徳教育の視点に立った内容が積極的に取り上げられていること。	1 人権教育の推進	○	○	○
		2 道徳教育の推進	○	○	○
7	系統的・発展的に学習しやすい題材構成であることに加え、他教科等の学習内容との関連や現代的な教育諸課題との関連が想起しやすく、また他校種との接続や家庭・地域との連携についても工夫・配慮がなされていること。	1 題材構成の系統性・発展性	○	◎	○
		2 他教科や教育課題等との関連	◎	○	◎
		3 他校種との接続	◎	○	○
		4 家庭・地域との連携	○	○	○
8	表記、表現、写真、図表等が適切かつ正確であることに加え、ユニバーサルデザインの観点から、文字フォント、色の使用、紙面の構成等において見やすく読みやすいよう工夫・配慮がなされていること。また、再生紙の使用や環境に優しいインクの使用等環境への配慮がなされていること。	1 文字や写真、図表等の適切さ、正確性、使いやすさ	○	○	○
		2 ユニバーサルデザインの視点	○	○	○
		3 装丁や編集の適切さ、堅牢性の工夫	○	○	○
		4 用紙、インク等の環境面への配慮	○	○	○

【技術・家庭（家庭分野）】観点別資料

【選定の観点1】

学習課題や目標の明示、適切なまとめや振り返り活動の設定など、生徒が基礎的・基本的な知識及び技能の内容を確実に習得できるよう工夫・配慮がなされていること。

発行者名	2 東書	6 教図	9 開隆堂
<p>○各節始めに「目標」「キーワード」「学習課題」を示し、最後に「まとめよう」で節の学習のまとめを行うことで、生徒自身が見通しと課題意識をもって学習を進め、振り返ることができるよう工夫されている。また、各編最後の「大切な用語の確認」で基礎的・基本的な内容が提示され、さらに見開きの特設ページ「いつも確かめよう」で実習や生活の実践に関わる技能や科学的根拠についてポイントをまとめて掲載されており、生徒が基礎的・基本的な知識及び技能をいつでも繰り返し確認できる工夫がなされている。</p> <p>○各編の構成は、「導入」→「基本ページ」→「学習のまとめ」で統一されており、「導入」では小学校家庭科の学習を振り返るとともに、この編で学習する内容についてイラストを用いてイメージしやすい工夫がされている。さらに、見開きの「学習のまとめ」では、「知識・技能」などの評価の観点別に学習内容を振り返って確認し、復習できるよう工夫されている。</p> <p>○調理・製作・触れ合い体験の実習には「安全」「衛生」マークを付し、生徒に対する安全・衛生への意識付けを図るとともに、食物アレルギーの原因になる食品を表示マークで具体的に示されている。さらに、巻頭の「実習を楽しく安全に進めよう」では、感染症などへの対策について、イラストや写真を用いて具体的に紹介するなど、安全・衛生への自覚を促すための工夫がなされており、優れている。</p>	<p>○各節の始めに「めあて」と「キーワード」が示されており、生徒が基礎的・基本的な内容を確認しながら学習できる。また、「やってみよう」のページ構成を「見つめる」→「学ぶ」→「ふり返る」で統一するなど、知識及び技能を身に付けやすいよう工夫されている。加えて、各節最後の「ふり返る」で学習内容を3段階で自己評価するとともに、生徒自身の言葉で振り返ることができる「私の学び」欄を設け、見通しと課題意識をもって学習を進められるよう工夫されている。さらに、調理や製作に関する学習の流れを見開きページに統一し、解説付きの写真や図表を用いて、科学的な理解を助ける視覚的な資料を多く掲載したりするなど、生徒が基礎的・基本的な知識及び技能を習得できるよう工夫されている。</p> <p>○各編の構成は、「導入」→「やってみよう」→「学びを生かそう」→「章末のまとめ」で統一されており、さらに各扉ページでは、この編で学ぶ内容をイメージさせるイラストや言葉等を用い、小学校家庭科とのつながりを確認し、生徒自らの生活を見つめる「自立度チェック」欄を設けるなどの工夫がなされている。また、章末の「学習のふり返り」のページでは、「知識・技能」などの評価の観点別に振り返りができるようになっており、生徒が自己評価しやすいよう工夫されている。</p> <p>○調理・製作・ふれ合い体験の実習には「安全」「衛生」マークを付し、生徒に対する安全・衛生への意識付けを図るとともに、アレルギー物質28品目を含む食材に下線を付けて具体的に示し、危険回避に繋がるよう工夫されている。また、対処方法を紹介するコーナーや巻頭ページにおいて、イラスト等を用いて危険な行動を具体的に紹介するなど、生徒の安全・衛生への自覚を促すための工夫がなされており、優れている。</p>	<p>○各節の始めに、「学習の目標」と身近なことから考えられる課題が示され、生徒が見通しと課題意識をもって学習を進められるよう工夫されている。調理や製作に関する見開きページでは、生徒が基礎・基本の技能を捉えやすいよう写真やイラストを効果的に掲載するなど、学習内容を確認しやすい工夫がなされている。また、「調理方法Q&A」では、短い問いと答えの形式にまとめられており、生徒が科学的根拠に基づいた知識及び技能を習得しやすいよう工夫されている。</p> <p>○各編の構成は、「主体的な学び」→「対話的な学び」→「深い学び」で統一されており、各編の導入ページでは、この編で学ぶ内容を生徒がイメージできる写真を用いて、興味・関心をもてるような工夫がなされている。また、各編末の「学習のまとめ」では、「知識・技能」などの評価の観点別に生徒が学習を振り返って確認できるよう工夫されている。</p> <p>○調理・製作実習には「安全」「衛生」マークを付し、生徒に対する安全・衛生への意識付けを図るとともに、アレルギー物質を含む食材を黄色の枠組みで具体的に示すことにより、危険回避に繋がるよう工夫されている。また、対処方法については、巻頭の「ガイダンス」においてイラスト等を用いて危険な行動を紹介するなど、生徒の安全・衛生への自覚を促すための工夫がなされている。</p>	

【選定の観点2】

習得した知識及び技能を活用しながら、生徒が問題発見・解決的な学習、話し合い活動や表現活動等の言語活動に取り組み、多面的・多角的に考察しながら、思考力、判断力、表現力等を身に付けられるよう工夫・配慮がなされていること。

発行者名	2 東書	6 教図	9 開隆堂
<p>○生徒が学習を深める活動を行う部分を「資料」マークで示すとともに、節の最後の「生活に生かそう」の欄で「〇〇をしましょう。」など、節の学習内容を実際の生活に活用することを促す活動が示されており、工夫されている。また、各編の最後の「学習のまとめ」に「生活に生かそう」を設け、生徒が各編の学習を総合的に生活に活用する機会を設けるなど、工夫されている。</p> <p>○本文中の「考えてみよう」「話し合ってみよう」で、「具体的な対策を考えましょう。」などの活動が設定されており、生徒が問題解決的な活動を通して言語活動の充実が図られるよう工夫されている。また、巻頭のガイダンスの「家庭分野の学習」や巻末の「生活の課題と実践」において、問題解決の手順だけでなく、家庭科の学習の見方・考え方との関連も紹介することにより、生徒が主体的に問題解決的な学習に取り組めるよう工夫されており、優れている。</p> <p>○各編最後の「学習のまとめ」の「学習を深めよう」では、生徒が自身の生活を見直して考え、まとめる問いを設定するとともに、巻末「生活の課題と実践」では、各編の学習内容ごとのまとめ方と実践例を紹介し、生徒自身で課題の発見から解決までの計画を立てる設定とするなど、思考力、判断力、表現力等の育成につながるよう工夫されている。</p>	<p>○学習活動内の「やってみよう」では、生徒が習得した知識及び技能を活用できる機会を設けており、さらに章末の「学びを生かそう」で、この章で学んだことを総合的に活用する構成となっており、これまでの学びを踏まえて自分事として問題発見、課題設定、課題解決への流れが明確に示されている。また、実際の取組例も掲載されており、学習内容全体を捉えて知識及び技能を活用しやすいよう工夫されている。</p> <p>○本文中の「考えてみよう」「話し合ってみよう」では、場にふさわしい服装を具体的に考えるなどの活動が設定されており、生徒が問題解決的な活動を通して言語活動の充実が図られるよう工夫されている。また、巻頭の「自分の課題をもって学習に取り組もう！」や章末の「学びを生かそう」において、問題解決の手順が繰り返し紹介され、生徒が主体的に問題解決的な学習に取り組めるよう工夫されている。</p> <p>○章末の「学習のふり返り」の「考えてみよう」では、学習した内容を生徒自身の言葉でまとめる問いが示されるとともに、巻末の「生活の課題と実践」では、各章の学習内容ごとに実践例を紹介し、生徒自身で課題の発見から解決までの計画を立てる設定とするなど、思考力、判断力、表現力等の育成につながるよう工夫されている。</p>	<p>○各章の終わりには、持続可能な社会の実現を目指して、多角的な視野をもって課題を見つけ、解決に向けて考える活動が設定されており、生徒がこれまでの学習において習得した知識及び技能を生かして考える機会を設けるなど、工夫されている。</p> <p>○本文中の「やってみよう」「考えてみよう」「話し合ってみよう」で、生徒が問題解決的な活動を通して言語活動の充実が図られるよう工夫されている。また、巻頭のガイダンスの「生活課題に取り組む」や、巻末の「生活の課題と実践」において、問題解決の手順が繰り返し紹介され、生徒が主体的に問題解決に取り組めるよう工夫されている。</p> <p>○章末の「学習のまとめ」では、学習した内容を生徒自身の言葉でまとめる問いが示されるとともに、巻末の「生活の課題と実践の進め方」では、各編の学習内容と関連した実践例を紹介し、生徒自身で課題設定から解決までの計画を立てる設定とするなど、思考力、判断力、表現力等の育成につながるよう工夫されている。</p>	

【選定の観点3】

生徒が主体的・対話的に学ぶことができるよう、能動的・体験的な活動など探究意欲を高めるための工夫・配慮がなされ、さらに学んだことを活用して発展的な学習に取り組みやすい工夫・配慮がなされていること。また、ICT機器の活用も含め、個別最適な学びと協働的な学びを展開しやすい工夫・配慮がなされていること。

発行者名	2 東書	6 教図	9 開隆堂
<p>○各節に「レッツスタート」として始めの活動が提示され、「考えてみよう」「調べてみよう」「やってみよう」「話し合ってみよう」といった問いの中で、生徒が主体的・対話的に学ぶことができるよう、よく工夫されている。また、各節の「資料」マークで示された学習や巻末の「生活の課題と実践」において、物事を考え、意見を整理したりする際に活用できる有効な思考ツールの活用手順や留意点が巻頭の資料で具体的に紹介され、生徒が探究意欲を高められるよう工夫されている。</p> <p>○実習例のページに掲載されている「私のオリジナル」において、実習例とは別の工夫を紹介したり、世界の様々な住まいの紹介など学習内容をさらに深める情報については「発展」マークを付し、生徒の興味・関心に応じて発展的な実践活動につなげられるよう工夫されている。</p> <p>○巻頭の「家庭分野の学習の進め方」において、評価・改善のプロセスでICT機器を活用しながら個別又は協働して活動している写真が掲載されており、ICT機器の活用を促す工夫がなされている。</p>	<p>○各節の「考えてみよう」「調べてみよう」「話し合ってみよう」「やってみよう」といった問いの中で、生徒が主体的・対話的に学ぶことができるよう工夫されている。また、先輩や地域・社会で活躍している人など、各題材と関連する人たちからのメッセージを掲載することにより、各章の学習内容に対する生徒の興味を喚起するとともに、各節の「考えてみよう」「調べてみよう」「つくってみよう」などの活動で多様な活動を提示し、生徒が探究意欲を高められるよう工夫されている。</p> <p>○実習例のページに掲載されている「私のアレンジ」において、実習例とは別の工夫を紹介したり、地域の伝統的な器の紹介など学習内容をさらに深める情報については「発展」マークを付し、生徒の興味・関心に応じて発展的な実践活動につなげられるよう工夫されている。</p> <p>○巻頭の「自分の課題をもって学習に取り組もう！」では、課題解決学習の流れを掲載しており、その中で「計画・実践する」や「評価する」の課題解決方法としてICT機器を活用した事例を紹介するなど、ICT機器の活用を促す工夫がなされている。</p>	<p>○巻頭のガイダンスにおいて具体的な学習方法を説明するとともに、各節の「やってみよう」「考えてみよう」「調べてみよう」「話し合ってみよう」「発表しよう」といった学習活動の中で、生活の中で家庭の仕事にどのように関わっていくことができるか話し合ったりするなど、学習活動を具体的に提案することで、生徒が主体的・対話的に学ぶことができるよう工夫されている。また、「演じてみましょう」「想像してみましょう」「なぜだと思いますか」などの呼び掛けが多数掲載されており、様々な角度から各節の学習課題に取り組むことができるよう、学習に対する探究意欲を高められる工夫がなされている。</p> <p>○実習例のページに掲載されている「調理実習Q&A」において、科学的根拠や調理のポイントを示したり、子どもの権利条約や法律の紹介など学習内容をさらに深める情報については「発展」マークを付し、生徒の興味・関心に応じて発展的な活動につなげられるよう工夫されている。</p> <p>○巻末の「生活の課題と実践」では、課題解決に向けた手順を掲載しており、「実行・実践」や「まとめ・発表」の方法としてICT機器を活用した情報収集や他者への発表などを例として紹介するなど、ICT機器の活用を促す工夫がなされている。</p>	

【選定の観点4】

よりよい生活の実現に向けて、生活を工夫し創造する資質・能力を身に付けられるよう、生徒が生活の営みに係る見方・考え方を働かせながら、生活に関する実践的・体験的な活動を通して、生活における問題を見出し解決策を構想したり、実践を評価・改善したりする活動が適切に取り上げられていること。

発行者名		
2 東書	6 教図	9 開隆堂
<p>○学習課題に関連したキャラクターのセリフを随所に掲載しており、疑問や課題をもちながら本文を読み進めることができるなど、生徒が家庭分野の見方・考え方を働かせて思考し、深い学びが実現できるよう工夫されている。また、各節の始めの活動「レッツスタート」が学習課題につながり、各編末の「学習のまとめ」がこれまでの学びを生活に返す構成となるよう工夫されており、優れている。</p> <p>○巻頭の「Warm up」や「ガイダンス」において、生活の営みに係る見方・考え方が4つのマークやイラストで具体化され、日々の生活を多面的に見つめることで、自らの問題発見につながるよう工夫されている。また、各編の扉ページで関連する見方・考え方をキーワードで例示し、生徒自らが多角的な視点から考えたり、判断や決定して問題解決に取り組める構成となっており、優れている。</p>	<p>○中学生の生活の1コマ漫画や写真など、「生活の営みに係る見方・考え方」の視点を基に構成された具体的な資料を提示することにより、生徒が自分の生活を見つめるきっかけとなるよう工夫されている。また、各節導入の「見つめる」に対応した「見つめてみよう」では、気付きをより深めるための問いが示され、生徒が課題設定・解決の道筋に沿った学習活動がしやすいよう工夫されており、優れている。</p> <p>○巻頭の「ガイダンス」において、家庭分野の学習の考え方の視点として「協力・協働」「健康・快適・安全」「生活文化の継承・創造」「持続可能な社会の構築」を具体的に紹介されており、さらに章末の「学習の振り返り」の中で各章の内容に応じた課題についての学習の進め方がまとめられているなどの工夫がなされている。一方で、生活の営みに係る見方・考え方については、各学習の導入部分において、資料から気付きを得られるよう配慮するにとどめられている。</p>	<p>○キャラクターのセリフを参考に、生徒が学習内容に応じた課題設定を行い、自身の興味・関心・疑問から、言葉・体・頭を使って人や物、事柄と対話し、課題解決を目指すよう工夫されている。生活の見方・考え方を働かせながら、家庭分野の学習で「ひと」「もの」「こと」に関わる力を身に付けることができる構成となっており、工夫されている。</p> <p>○巻頭の「ガイダンス」において、生活の営みに係る見方・考え方の4つの視点として「協力・協働」「安全・快適・健康」「生活文化」「持続可能な社会の構築」が紹介されており、さらに主体的・対話的で深い学びの理解を促す学習方法が掲載されているなどの工夫がなされている。しかし、各編の導入部分においては、キャラクターのセリフから気付きを得られるよう配慮するにとどめられている。</p>

【選定の観点5-1】

よりよい生活を営むための課題と実践がバランスよく取り上げられるとともに、家族や家庭、衣食住、消費や環境等にかかる生活事象について、生徒が協力・協働、健康・快適、安全、生活文化の継承・創造、持続可能な社会の構築等の視点で捉え、自立した消費者としての素養を高められるよう工夫・配慮がなされていること。

発行者名		
2 東書	6 教図	9 開隆堂
<p>○巻末の「生活の課題と実践」では、生徒が問題解決的な学習と巻頭の「ガイダンス」をリンクさせ、見方・考え方を働かせながら計画・実践・改善したことを生活に生かすことができるよう工夫されている。また、生徒が表現力を育むことができるよう、学習内容別のレポート作成例やソフトウェアを活用したプレゼンテーション資料例など豊富な表現方法について写真やイラストを用いて提示するとともに、課題設定の方法やまとめと発表の仕方のポイントを掲載することで、主体的な学習活動や言語活動を促すなど工夫されており、優れている。</p>	<p>○巻末の「生活の課題と実践」に掲載されている学習課題と実践例は、巻頭のガイダンスと各領域の「学びを生かそう」とリンクしており、生徒が手順に沿って繰り返し問題解決的な学習に取り組むことができるよう工夫されている。また、課題設定のヒントとして、題材導入の活動を掲載したり、巻頭の「自分の課題を持って学習に取り組もう！」の中で、まとめ方や発表方法の例も併せて掲載することで、生徒の表現力を育むとともに、課題の設定と実践のイメージをもちやすいよう工夫されている。</p>	<p>○巻頭の「ガイダンス」において、主体的・対話的で深い学びの理解を促す学習方法が掲載されている。また、巻末の「生活の課題と実践」では、課題に対する家庭や地域での学習の進め方や取組方法、まとめ方が具体的に掲載されており、さらに多種多様な実践例が紹介されていることで、課題の設定と実践のイメージをもちやすく、計画的に学習を進める手助けとなるよう工夫されている。</p>

【選定の観点5-2】

よりよい生活を営むための課題と実践がバランスよく取り上げられるとともに、家族や家庭、衣食住、消費や環境等にかかる生活事象について、生徒が協力・協働、健康・快適、安全、生活文化の継承・創造、持続可能な社会の構築等の視点で捉え、自立した消費者としての素養を高められるよう工夫・配慮がなされていること。

発行者名	2 東書	6 教図	9 開隆堂
	<p>○各編の最終章において、これまでの学習に対応した持続可能な生活を目指した内容を取り上げる構成で統一するとともに、脚注の「せいかつメモ」では、SDG sに関連する内容には開発目標をアイコンで示し、生徒が全ての学習でSDG sの視点から持続可能な社会の構築に寄与する態度を養えるよう優れた工夫がなされている。</p> <p>○幼児や高齢者との関わりを随所に取り上げ、地域行事への参加や地域の清掃活動など、中学校段階における生活環境全般を意識した内容が充実している。また、家族や地域、高齢者との関わりを考えるロールプレイングの例が示され、実践的・体験的な学習活動ができるよう工夫されている。</p> <p>○伝統的な料理や食材、衣服の文化、和式の住まいの特徴、各地の気候風土に合わせた特徴ある住まいの写真など、日本の伝統的な生活文化に関する内容には「伝統文化」マークを付し、生徒の注視を促すとともに、伝統的な生活文化を尊重し、我が国と郷土を愛する態度を養うことができるよう配慮されている。</p>	<p>○持続可能な社会のための環境に関する内容には「環境」マークを付し、生徒が生活と環境の関わりに気付くことができるよう配慮されている。また、SDG sに関連する資料には開発目標をアイコンで示し、持続可能な社会の構築に向けて身近なテーマとして捉え、自分にできることを考えていけるよう工夫されている。</p> <p>○地域の一員としてのイメージがもてるよう、地域の人々との助け合い、協働といった内容が取り上げられており、それぞれの地域に応じた取組ができるよう工夫されている。また、「センパイに聞こう！」では、保育士や和菓子職人など、学習に関わりのある人たちからのメッセージを掲載することで、生徒が将来を見据え、自ら生活をよりよいものにする実践的態度を養うことができるよう工夫されている。</p> <p>○伝統的な年中行事や地域の食文化、和食の調理、和服、伝統的な住まいなど、日本の伝統的な生活文化に関する内容に「伝統文化」マークを付し、生徒の注視を促すとともに、伝統的な生活文化を尊重し、我が国と郷土を愛する態度を養うことができるよう配慮されている。</p>	<p>○巻頭の「ガイダンス」において、SDG sの開発目標と学習内容との関連が示されるとともに、各章の終わりには、学習内容を踏まえた「持続可能な〇〇生活」の節が設定され、関連するSDG sの開発目標をアイコンと共に提示し、重要だと思うものや関心をもっているものを選ぶ活動を通して、環境への影響を具体的に考え、生徒が持続可能な社会を目指した行動ができるよう工夫されており、優れている。</p> <p>○家族や幼児、高齢者など地域の異なる世代の人たちと共に生活する視点で学習項目が構成されており、地域の人々と関わることの大切さへの理解を深めることができ、さらには「中学生の取り組み」や「地域の取り組み」において、高齢者の生活支援ボランティアや地域のふれあい祭りへの参加など、自発的な行動を促す具体的な活動例が盛り込まれており、工夫されている。</p> <p>○全国各地の和食や郷土料理、伝統的な民家や和服など、日本の伝統的な生活文化に関する内容に「伝統文化」マークを付し、生徒の注視を促すとともに、生徒が伝統的な生活文化を尊重し、我が国と郷土を愛する態度を養えるよう配慮されている。</p>

【選定の観点6-1】

生徒が人権の重要性を学び、人間としての生き方について考察できるための工夫・配慮がなされ、基本的人権の尊重の精神及び道徳性を身に付けられるよう、人権教育や道徳教育の視点に立った内容が積極的に取り上げられていること。

発行者名		
2 東書	6 教図	9 開隆堂
<p>○幼児から高齢者まで世代の異なる人、障がいのある人やない人、様々な国籍の人、異なる文化や言語をもつ人などが登場し、周囲の人との共生の大切さを自覚できるよう工夫されている。また、男女が共に子育てに関わっている姿を写真やイラストで示したり、法律などの資料を取り上げたりして、男女共同参画社会における男女の協力の大切さが伝わるよう配慮されている。</p> <p>○家庭や学校、地域における生活のあらゆる場面で性別や世代を超えた話し合い活動や協力して作業する姿を写真やイラストで示し、男女の平等や自他の敬愛と協力・協働を重んじる態度を養うことができるよう配慮されている。また、他教科や道徳との関連を「他教科リンク」マークを付し、随所に技術・家庭科の特質に応じた道徳教育に関連する場面が示され、道徳教育の充実に配慮されている。</p>	<p>○性別や人種、年齢や障がいの有無などにかかわらず、協力・協働していくことができるよう、様々な人と助け合い、生活していく上で大切なことには共生マークを付し、公共の精神をもってよりよい社会の実現に努めることができるよう配慮されている。また、男女共同参画社会に関する資料を掲載したり、イラストや写真で男女のバランスに配慮したりすることで、男女の平等、自他の敬愛と協力を重んずる態度を養うことができるよう工夫されている。</p> <p>○家族・家庭とはどのような存在かを考える活動から具体的な家庭の仕事へと学習を展開し、家族の一員としての自覚をもって充実した家庭生活を築くことができるよう配慮されている。また、地域の人々との助け合いや協働、高齢者など異なる世代との交流といった内容を取り上げ、道徳との「関連マーク」を付すなど、道徳教育の充実に配慮されている。</p>	<p>○共生社会をテーマに、様々な人々との関わり合っていくことの必要性を理解し、人々と支え合い、分かち合い、これからの社会を考えられるよう、事例を充実させており、工夫されている。また、家庭でも社会でも男女が協力して支える社会を目指す男女共同参画社会の重要性を示し、図・写真・イラストなどを中心に公平な配慮がなされている。</p> <p>○自立や共生とはどのようなことか、自分や周囲の人たちの生活を振り返って考えを表明する場面を設け、主体的な思考活動ができるよう配慮されている。また、地域の人々と共に協力して主体的に社会の形成に参画できるように様々な事例が取り上げられ、さらに道徳と関連する内容には、「他教科との関連マーク」と共に具体的事項が示されており、工夫されている。</p>

【選定の観点7-1】

系統的・発展的に学習しやすい題材構成であることに加え、他教科等の学習内容との関連や現代的な教育諸課題との関連が想起しやすく、また他校種との接続や家庭・地域との連携についても工夫・配慮がなされていること。

発行者名		
2 東書	6 教図	9 開隆堂
<p>○3年間を通して「自立から共生」のストーリーになるよう配列されているとともに、各編とも「導入」→「基本ページ」→「学習のまとめ」の構成で統一され、内容に沿った実習例や資料が取り上げられており、系統的な流れに沿って学習が進められるよう工夫されている。</p> <p>○他教科との関連マークを付し、生徒が他教科との関連を意識し、教科横断的に学習を深められるよう工夫されている。また、巻末の資料では、学習内容がSDGsのどの開発目標と関わっているかを示し、さらに技術分野との関連も確認できるよう工夫されており、優れている。</p>	<p>○各編において「やってみよう」と「学びを生かそう」のコーナーが設定されており、生徒が問題解決的な学習を通して資質・能力が身に付くよう工夫されている。また、実習題材は、基本技能の練習ができる題材から問題解決的な題材へと系統的に配列され、生徒の発達段階に合わせて取り組めるよう工夫されており、優れている。</p> <p>○他教科との関連マークを付し、生徒が他教科との関連を意識し、教科横断的に学習を深められるよう工夫されており、さらにガイダンスにおいて、SDGsの開発目標について紹介されている。</p>	<p>○各内容・項目とも、基礎的・基本的な内容の習得から応用・発展的な学習へと系統的な流れに沿って学習を進められるよう工夫されている。</p> <p>○他教科との関連を常に同じ位置にマークを付し、生徒が他教科との関連を意識しやすく、教科横断的に学習を深められるよう工夫されており、さらに各編の終末には、SDGsのどの開発目標と関わっているかを示し、生徒の思考を促す問いが記載されている点が優れている。</p>

【選定の観点7-2】

系統的・発展的に学習しやすい題材構成であることに加え、他教科等の学習内容との関連や現代的な教育諸課題との関連が想起しやすく、また他校種との接続や家庭・地域との連携についても工夫・配慮がなされていること。

発行者名	2 東書	6 教図	9 開隆堂
<p>○巻頭のガイダンスで、中学校と小学校の学習内容を見開きで写真と共に掲載したり、各編の扉に小学校での学習内容のキーワードを提示するとともに、関連する箇所「小学校」マークを付したりすることで、生徒が小学校での学習の上に中学校の学習が積み重なっていることが実感できるよう工夫されている。また、高等学校の学習内容に関連が深い部分には「発展」マークを付し、生徒の興味・関心に応じて学習を深めていくことができるよう工夫されており、優れている。</p> <p>○地域に伝わる衣の文化や地域の食材を生かした和食、幼児とのふれあい体験が可能な施設を紹介したり、調理実習や作品製作等の実習例を数多く掲載している。また、実習例のページに掲載されている「私のオリジナル」では、実習例とは別の簡単な工夫が取り上げられており、生徒が自分なりの課題を設定する際のヒントになり、家庭での実践を促すよう工夫されている。</p>	<p>○小学校での学習に関連する箇所をマークで示すとともに、特に高等学校の学習との関連内容は「発展」マークを付し、生徒の理解度や興味・関心に応じて学習を深めていくことができるよう工夫されている。</p> <p>○地域で活躍している方からのメッセージを掲載することで、生徒が具体的なイメージをもって学習に取り組めるよう工夫されている。また、地域の食材例や、食文化、日本各地の住まいの例などを写真と共に掲載することで、生徒がそれぞれの地域の特徴について学習する際に活用しやすいよう工夫されている。さらに、地域の食材を用いた和食の実践課題をレポート例と共に提示することで、生徒が家庭や地域のよさを知って学びを深めていくことができるよう工夫されている。</p>	<p>○各編の冒頭に「小学校での学び」欄を設け、生徒が小学校で学習した内容を振り返ることができるよう工夫されている。また、高等学校の学習内容に関連が深い部分は「発展」として扱われることで、生徒の興味・関心に応じて学習を深めていくことができるよう工夫されている。</p> <p>○地域性を生かした食材や調理例（郷土食・行事食）がその地域の伝統的な食文化と関連付けながら掲載されていることで、生徒がそれぞれの地域について学習する際に活用しやすいよう工夫されている。また、巻末の「生活の課題と実践」では、安心して暮らすことができる地域マップ作りや祖父母へのおもてなし弁当、我が家のお雑煮づくりなどの実践例が掲載され、生徒自身が家庭・地域を具体的に意識して実践に取り組めるよう工夫されている。</p>	

【選定の観点8】

表記、表現、写真、図表等が適切かつ正確であることに加え、ユニバーサルデザインの観点から、文字フォント、色の使用、紙面の構成等において見やすく読みやすいよう工夫・配慮がなされていること。また、再生紙の使用や環境に優しいインクの使用等環境への配慮がなされていること。

発行者名	2 東書	6 教図	9 開隆堂
<p>○文章表現は、発達段階に応じた適切な用語が用いられており、さらに中学校以降で学習する常用漢字には全て振り仮名を付け、生徒が音読しやすいよう配慮されている。また、写真では、肉、魚、野菜、穀類や幼児の使う小物の実物大サイズの写真が掲載されていることに加え、調理実習ページの写真は大きく、手順は横の流れの写真で示され、生徒が使いやすいよう工夫されている。</p> <p>○本文、見出し、吹き出しなど全ての書体にはユニバーサルデザインフォント（UD書体）を使用し、可読性を高めるとともに、カラーユニバーサルデザインの観点から、配色とデザインについて検討し、色覚に関する専門家からの校閲を受けるなど配慮されている。</p> <p>○製本は堅牢で、長期間の使用に耐えられるよう工夫されている。</p> <p>○環境に配慮した再生紙・植物油インキが使用されている。</p>	<p>○A判より横が7mm小さく、縦が7mm大きいオリジナルサイズを採用し、机の上での使いやすさが考えられている。本文は、音読のしやすさを考慮した簡潔な文章になっており、吹き出しは親しみやすい口語的な言い回しが使用されている。また、漢字は基本的には常用漢字を使用し、中学校以降で学習する常用漢字には、見開き単位で新出箇所には振り仮名を付ける配慮がされている。さらに、食品成分表が食品群で色別されており、生徒が使いやすいよう工夫されている。</p> <p>○書体にはユニバーサルデザインフォント（UD書体）を使用し、文字を大きくすることで、読みやすい行間になるよう配慮されている。また、カラーユニバーサルデザインの観点から、図やグラフの色使いで、生徒が色の境界がはっきりと識別できるよう配慮されている。</p> <p>○製本は堅牢で、長期間の使用に耐えられるよう工夫されている。</p> <p>○環境に配慮した再生紙・植物油インキが使用されている。</p>	<p>○A判を採用し、内容が読み取りやすくなるように文章や紙面の配置などが工夫され、支援が必要な生徒に対しても配慮されている。また、中学校以降で学習する常用漢字には、見開きページごとに新出箇所に振り仮名を付ける配慮がされている。さらに、肉、魚、野菜や乳幼児の手足やお弁当の実物大写真が掲載されていることに加え、調理実習ページの写真は大きく、手順は横の流れで示され、生徒が使いやすいよう工夫されている。</p> <p>○書体にはユニバーサルデザインフォント（UD書体）を使用し、読みやすい書体・大きさを生徒の発達段階に適するよう配慮されている。また、カラーユニバーサルデザインの観点から、図やグラフの輪郭や配色など、障害のある生徒も読み取りやすいよう配慮されている。</p> <p>○製本は堅牢で、長期間の使用に耐えられるよう工夫されている。</p> <p>○環境に配慮した再生紙・植物油インキが使用されている。</p>	